復旧・復興を止めない
除雪の取組
今冬の取組
令和7年11月28日
能登地域冬期道路交通確保情報連絡本部

「冬期道路交通確保情報連絡本部」による連携強化【継続】

○令和6年度は「能登地域冬期道路交通確保情報連絡本部会議」を設立し、関係機関が得た情報の一元化を図り、能登地域の交通障害を未然に防ぐ体制を構築（昨冬では41回実施）
○令和7年度も引き続き、情報連絡本部会議の密な実施により関係機関との連携、情報共有の強化を図る

■能登地域冬期道路交通確保情報連絡本部会議

●構成機関　　**令和6年11月21日設立**

・石川県
・輪島市、珠洲市、七尾市、穴水町、能登町、志賀町
・石川県警察本部
・気象庁金沢地方気象台
・国土交通省 北陸地方整備局
　金沢河川国道事務所（事務局）、 能登復興事務所
・自衛隊（オブザーバー）

能登地域情報連絡本部会議（令和6年11月21日）

関係機関が得た情報
（気象・交通・除雪・災害）

↓

能登地域
冬期道路交通確保情報連絡本部
《情報の一元的収集・共有・調整・協議》

↓

復旧・復興を止めない除雪体制の構築
適切な除雪情報等の提供等

■災害対策基本法に基づく車両移動訓練

○ 3機関合同による車両移動訓練を実施。

車両移動装置の使用

簡易チェーン設置訓練

除雪体制の強化（道路線形改良）【追加】

〇冬期走行の安全確保、および除雪作業の迅速化を図るため、線形改良を実施
〇令和7年度は集中工事を行うなどにより、降雪期までに線形改良を実施し（15箇所）、除雪体制強化

■線形改良実施箇所

■線形改良の事例

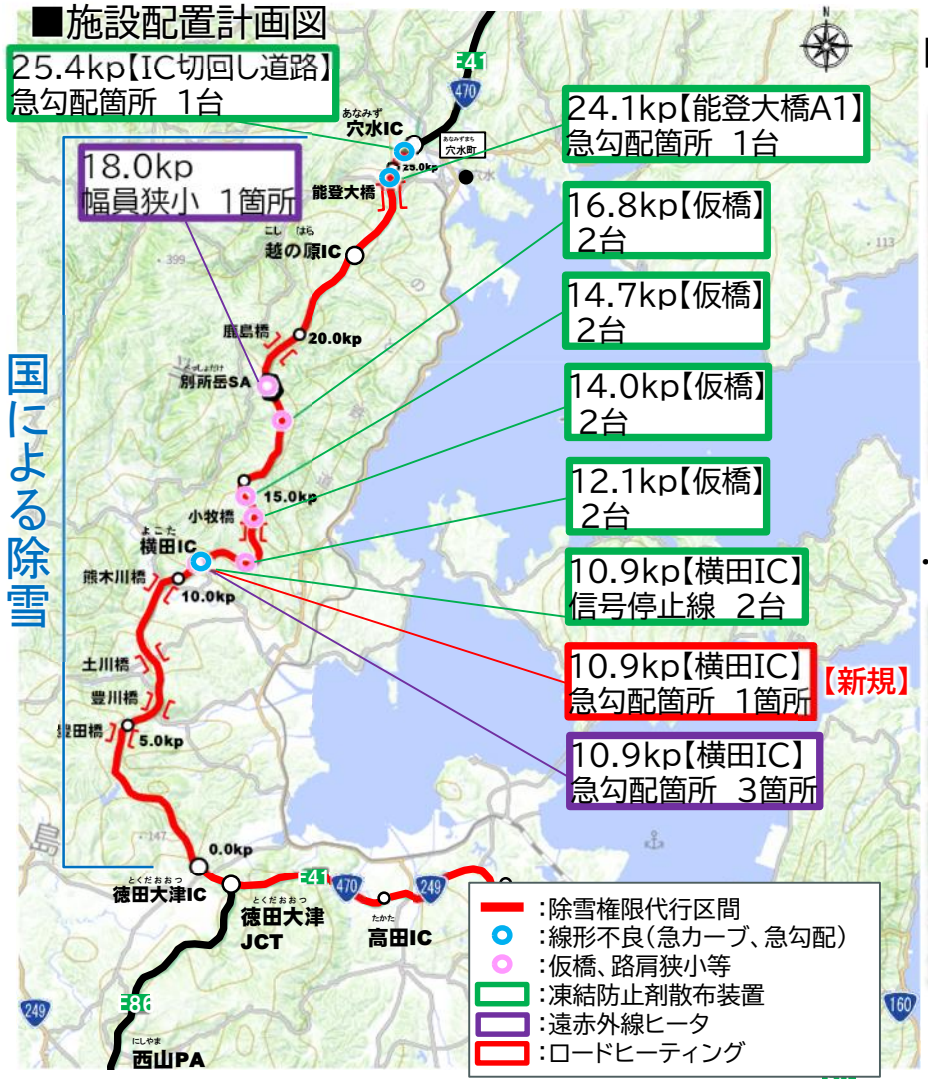
除雪体制の強化(融雪装置の再配置・除雪機械の増強)【追加】

○令和7年度は線形改良の進捗を踏まえ、令和6年度に設置した融雪設備等を最適な配置に見直すとともに、縦断線形が厳しい箇所については、新たにロードヒーティングを増強

○直轄の除雪基地では除雪機械を新たに増強し、除雪体制を強化(令和6年度 17台増強＋令和7年度 1台増強※)

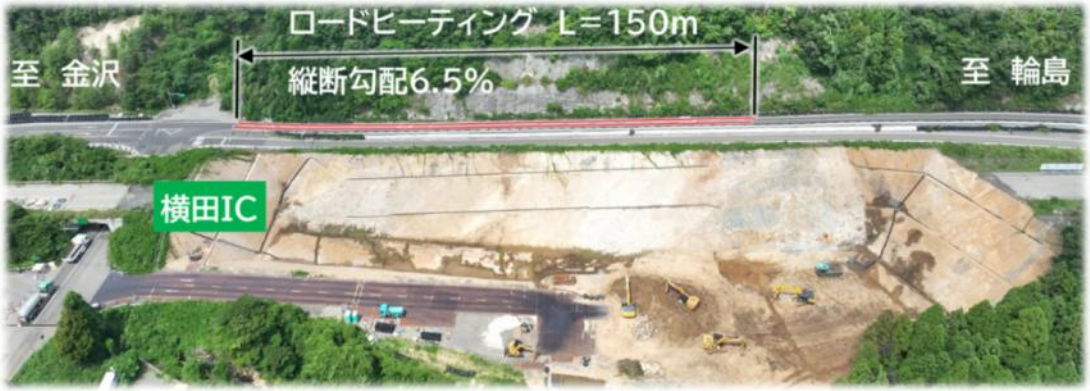
※除雪ドーザを1台増強。

■施設配置計画図



■融雪設備の配置

・縦断線形が厳しいランプ部では、新たにロードヒーティングを設置

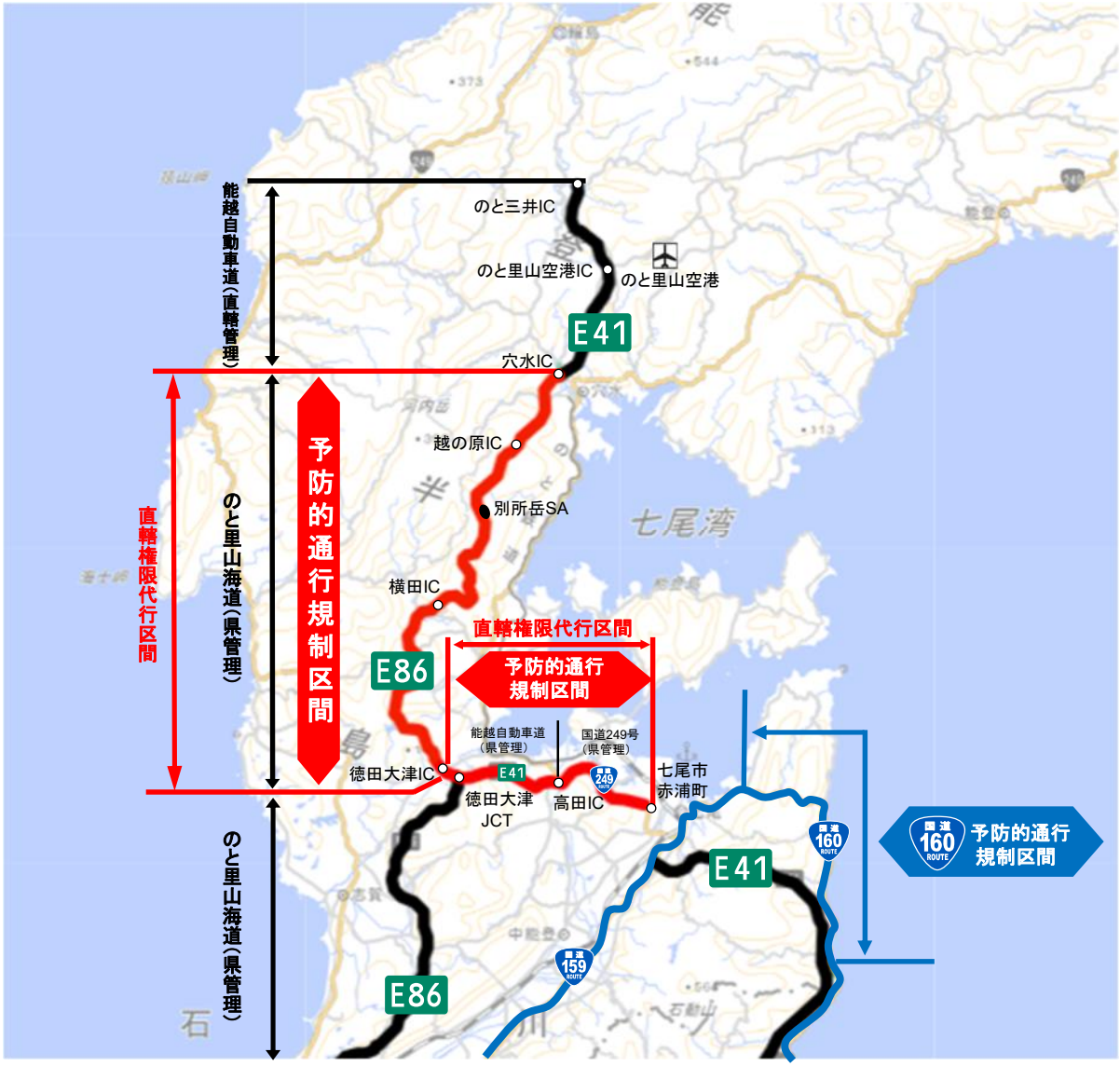


能越道・のと里山海道を国で除雪【継続】

○能越道・のと里山海道は、国で除雪することに加え、国道249号は国の権限代行による除雪支援を実施
○線形改良、融雪施設等の再配置及び新設、道路監視カメラの配置により、今冬も万全の体制を構築

のと里山海道に予防的通行規制区間を設定【継続】

○令和6年度よりのと里山海道に「予防的通行規制区間」を設定（R6は4回通行止めを実施）
○令和7年度も引き続き、取組みを継続



予防的通行止め　規制状況

関係機関の連携・協力した広報活動【継続＋追加】

〇大雪のおそれがある場合に、記者会見を行い、出控えの呼びかけと注意喚起をSNS等でも実施
〇交通障害発生時に関係機関が連携・協力して、情報発信を実施
〇令和7年度より『ほくりくふゆみち情報』アプリで、新たに「のと里山海道」の配信開始

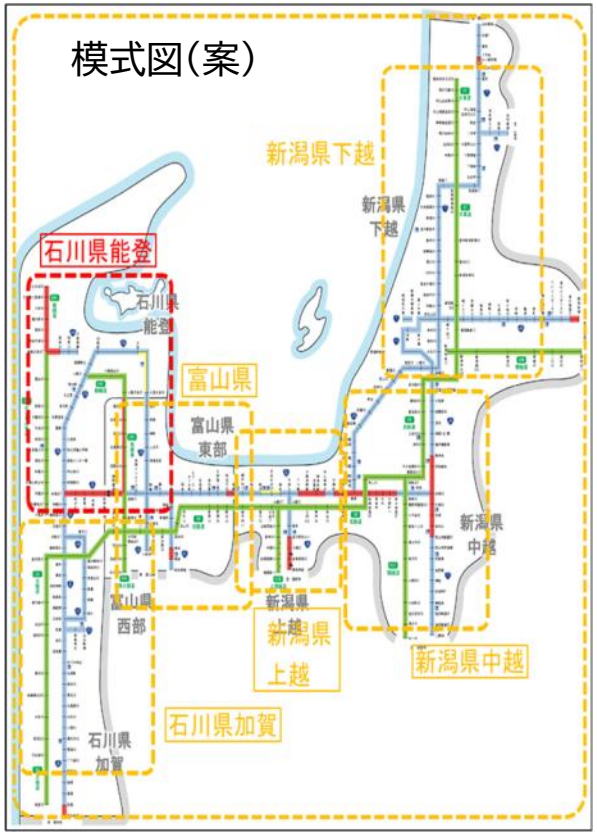
■共同会見

■SNSによる情報発信

令和7年度からの新たな取り組み

■『ほくりくふゆみち情報』アプリの概要

apple　Android



主な機能

項目	概要
対象路線（種別）	・高速道路 ・直轄国道
情報発信する事象	・通行止め（開始・解除） ・走行不能車（発生・解消） ・チェーン規制（開始・解除） ・大型車チェーン装着指導（開始・解除） ※上記はプッシュ通知（音声）で通知。
その他、アプリで提供している情報	・ライブカメラ画像（にいがたライブカメラで提供している画像を活用） ・通知詳細（通知情報履歴） ・管内道路管理者ホームページ（道路障害提供ページ） ・注意喚起メッセージ（出控えの通知等）
対象OS	・Android　・iOS

自治体道路除雪支援(小形除雪機の貸し出し)【継続】

○令和7年度は昨冬に引き続き、自治体への道路除雪支援として、他の地方整備局が配備する小形除雪機も含め、必要な台数を確保し無償貸し出しを実施
○さらに今冬は、小形除雪車の「引き渡し式」を実施することにより、地元自治体の機運醸成を図る

■今冬の能登地域の自治体への貸出台数(予定)

貸出先	台数	備考
能登地域 (輪島市、珠洲市、 穴水町、志賀町)	33台	北陸地整の除雪機のほか、 他地整所有の除雪機10台 を借用し、支援体制を確保
予備車	2台	
合計	35台	(令和6年度は35台貸出)

■小形除雪機(ハンドガイド)の概要

全　　長：2.54m
全　　幅：1.10m
投雪距離：　25m
最大除雪幅：1.10m
最大除雪高：0.68m
最大除雪量：137t/h

R6年度小形除雪使用状況

(輪島市)

(珠洲市)

(穴水町)